

平成 31 年 2 月 19 日

データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス演習」の受講者募集開始

総務省は、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を2019年5月14日（火）から開講することとし、本日から受講者の募集を開始します。

本講座は、実践的なデータ分析の手法を学習することができます。

- データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」の受講者の募集を本日から開始します。
※ 本講座は、2016年4月に実施した講座を再び開講するものです。
- 「社会人のためのデータサイエンス演習」は、2016年4月に開講し、延べ約2万8千人以上に受講していただきました。
行政やビジネスでの活用を想定した講座として、業務やビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析（統計分析）の手法を学ぶことができる内容となっています。
- 講座の開講は、2019年5月14日（火）の予定です。
本講座紹介用ウェブサイト（<http://gacco.org/stat-japan2>）から、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。

（別添資料）

別紙1 データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

別紙2 データサイエンス・オンライン講座の概要

別紙3 これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

（連絡先）

統計局統計利用推進課

担当：本橋課長補佐 丸井係長

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

【別紙 1】 データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

講座の目的：ビジネス上での分析事例を中心に
実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する

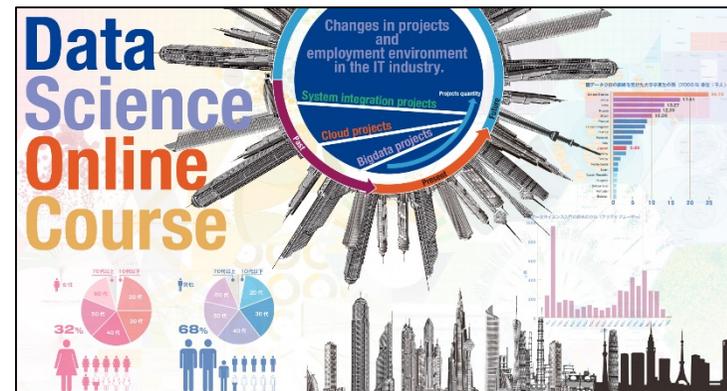
開 講 日：2019年5月14日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～6回程度（1週間）×5週

課 題：第1～4週の確認テストと最終課題の実施

講 師：データサイエンスに携わる専門家、大学教授、
総務省統計局職員

対 象：社会人



週	各週のテーマ	内 容
1	データサイエンスとは	データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較方法について学習
3	分析の具体的手法	相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告	回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために	ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説

【別紙2】 データサイエンス・オンライン講座の概要

日本政府初のMOOC（ムーク）^{*}講座として、自らの学びをサポートするウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義「データサイエンス・オンライン講座」を開設（2015年3月）

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

«※MOOC（Massive Open Online Coursesの略）»

インターネット上で誰でも無料で参加可能な、大規模でオープンな講義のこと。ビデオ講義と試験やレポート、ディスカッション可能な掲示板を提供し、修了証を発行

講座選び



受講登録



受講



修了証の発行

«日本では»

日本版MOOCの普及・拡大を目指し、「JMOOC」（日本オープンオンライン教育推進協議会）が2013年11月に発足。2014年4月から「gacco」等のサイトで講座を開設。

「社会人のためのデータサイエンス入門」

講座の特徴：データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

開講時期：2015年3月・11月、2016年3月※・12月、2017年5月※、2018年5月、11月※

学習時間：1回10分程度×4～9回程度(1週間)×4週

実績：社会人を中心に延べ約68,000人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

講座の特徴：「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

開講時期：2016年4月・11月※、2017年11月、2018年6月※

学習時間：1回10分程度×5～6回程度(1週間)×5週

実績：社会人を中心に延べ約28,000人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

講座の特徴：公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

開講時期：2017年6月・10月※、2018年12月

学習時間：1回10分程度×5～7回程度(1週間)×4週

実績：社会人を中心に延べ約15,000人が受講